

つるおか

# 市議会

令和3年

12月定例会号

●R4.2.1発行

Vol.70

だより

## JA鶴岡だだちゃアリーナで利用開始

昨年12月にオープンしたJA鶴岡だだちゃアリーナ(鶴岡市屋内多目的運動場)は、天候に左右されず、様々なスポーツやレクリエーションで幅広く利用できます。

【写真:峰栄サッカースポーツ少年団】

12月定例会の概要……P 2  
定例会のポイント……P 4  
委員会審査……P 5  
総括質問……P 7  
一般質問……P 10

# 議会の概要

16施設の指定管理者を可決  
補正予算、条例議案など  
36件を審議

12月定例会は、11月30日に開会し、市当局が26件の議案を提出しました。請願2件については、所管の常任委員会に付託しました。

上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書1件及び議案4件を含め審議し、18日間の会期を経て12月17日に閉会しました。

(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3頁)

## 6人が総括質問

開会初日は、市当局が予算議案3件、条例議案6件、事件議案17件の計26件の議案を提出し、各会派を代表して6人の議員が総括質問を行いました。

(質問内容は7～9頁)

上程された議案は、予算議案

## 12月定例会日程

- 11月 30日 本会議 (総括質問) 予算特別委員会
- 12月 2・3・6日 本会議 (一般質問) 常任委員会
- 7～10日 本会議 予算特別委員会
- 16日 本会議
- 17日 本会議

2日、3日、6日の3日間、市当局に対して一般質問を行い、24人の議員が市政全般について

## 24人が一般質問

同日、本会議終了後に、議員全員による予算特別委員会を開催しました。付託された予算議案3件についての提案説明が行われ、各分科会に分割付託しました。(同委員会の構成は6頁)

17号までの特別委員会の設置についての議案を提出し、表決の結果、全員賛成で可決しました。また、議長の指名により、各委

次に、議会が議会第15号から

16日の本会議では、意見書提出を求める請願について、総務及び産業建設常任委員長が審査報告を行い、討論の後、表決の結果、請願第10号及び11号は賛成少数で不採択としました。

## 予算特別委員会を開催 提案趣旨を説明

次に、議第115号を審議し、討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。

## 請願2件を不採択 補正予算は全員賛成で可決

また、総務及び産業建設常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

## 各常任委員会を開催 条例・予算議案等を審査

7日に総務、8日に市民文教、9日に厚生、10日に産業建設の各常任委員会及び予算特別委員会分科会を開催しました。

## 意見書・条例・事件・予算議案を可決 懲罰特別委員会を設置

最終日の17日の本会議では、初めに、田中宏議員から、16日の請願第10号の賛成討論における発言の一部について、取消しの申出があり、発言取消しが許可されました。

次に、議員提出の議会第18号の意見書を審議し、表決の結果、全員賛成で可決しました。

続いて、各常任委員長が条例及び事件議案について、予算特別委員長が予算議案についての審査報告を行い、議第90号から114号までの25件は、表決の結果、全員賛成で可決しました。

ここで、複数の議員から、16日の田中議員の賛成討論について、議事進行に関する発言があったことから、本会議を休憩することとしました。

本会議を再開し、休憩中に議員4人から出された議会第19号の田中議員に対する懲罰動議に

ついて議題としました。表決の結果、賛成多数となり、委員会条例の規定に基づき、懲罰特別委員会を設置しました。また、議長の指名により、同委員会の委員を選任し、その後、委員長及び副委員長の互選等をするため、本会議を休憩しました。

最後に、選第4号及び5号の鶴岡市選挙管理委員会選挙管理委員及び選挙管理委員の補充員の選挙が行われ、議長の指名により、当選人を決定しました。

## 選挙の結果

鶴岡市選挙管理委員会  
選挙管理委員

佐藤 敏 氏  
佐藤 正 氏  
庄司 晴一 氏  
佐藤 良江 氏

選挙管理委員の補充員

瀬尾 等 氏  
阿部 美恵子 氏  
長谷川 正士 氏  
齋藤 裕氏

### ▼市長提出議案と審議結果

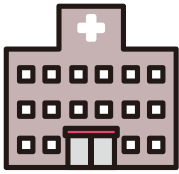
議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第90号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算(第7号)	予算特別	可決 (全員賛成)
議第91号	令和3年度鶴岡市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第92号	令和3年度鶴岡市下水道事業会計補正予算(第1号)	予算特別	
議第93号	鶴岡市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について 令和4年1月から令和7年9月までの間における市長の給料月額から、その100分の30の額に48を乗じ、45で除して得た額を減ずるもの	総務	
議第94号	損害賠償の額の決定について	総務	
議第95号	指定管理者の指定について(出羽庄内国際村)	総務	
議第96号	指定管理者の指定について(黒川能の里王祇会館)	総務	
議第97号	鶴岡市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について 育英奨学基金を廃止するもの	市民文教	
議第98号	指定管理者の指定について(大宝館)	市民文教	
議第99号	指定管理者の指定について(鶴岡市藤島地区地域活動センター)	市民文教	
議第100号	指定管理者の指定について(鶴岡市東栄地区地域活動センター)	市民文教	
議第101号	指定管理者の指定について(鶴岡市八栄島地区地域活動センター)	市民文教	
議第102号	指定管理者の指定について(鶴岡市長沼地区地域活動センター)	市民文教	
議第103号	指定管理者の指定について(鶴岡市渡前地区地域活動センター)	市民文教	
議第104号	指定管理者の指定について(鶴岡市大鳥自然の家)	市民文教	
議第105号	指定管理者の指定について(温海温泉林業センター)	市民文教	
議第106号	鶴岡市国民健康保険条例の一部改正について 出産育児一時金の額(加算額を除く)を40万4,000円から40万8,000円に改めるもの	厚生	
議第107号	鶴岡市国民健康保険税条例の一部改正について 未就学児に係る被保険者均等割額を5割減額するもの	厚生	
議第108号	指定管理者の指定について(貴船保育園)	厚生	
議第109号	鶴岡市手数料条例の一部改正について 長期優良住宅建築等計画の認定等に係る申請手数料を改めるもの	産業建設	
議第110号	指定管理者の指定について(庄内産業振興センター)	産業建設	
議第111号	指定管理者の指定について(鶴岡市赤川市民ゴルフ場)	産業建設	
議第112号	指定管理者の指定について(産直あさひ・グー)	産業建設	
議第113号	指定管理者の指定について(タキタロウ館)	産業建設	
議第114号	指定管理者の指定について(あさひ自然体験交流施設)	産業建設	
議第115号	鶴岡市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	省略	可決 (賛成多数)
議第116号	令和3年度鶴岡市一般会計補正予算(第8号)	省略	可決 (全員賛成)
議第117号	令和3年度鶴岡市病院事業会計補正予算(第1号)	省略	
議第118号	鶴岡市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	省略	

### ▼議員議会提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第15号	高速交通等対策特別委員会の設置について	省略	可決 (全員賛成)
議会第16号	議会改革特別委員会の設置について	省略	
議会第17号	人口減少・地域活性化対策特別委員会の設置について	省略	
議会第18号	日本政府にCOP26決定の実行と対策強化を求める意見書の提出について	省略	
議会第19号	田中宏議員に対する懲罰動議について	懲罰特別	継続審査
選 第4号	鶴岡市選挙管理委員会選挙管理委員の選挙	-	2頁掲載
選 第5号	鶴岡市選挙管理委員会選挙管理委員の補充員の選挙	-	2頁掲載

### ▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第10号	沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立て等に使用する計画の中止を国に求める意見書の提出を求める請願	総務	不採択 (賛成少数)
請願第11号	コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	産業建設	



## PCR自主検査センター 関連予算を可決(議第117号)

新型コロナの感染拡大地域との往来などにより、感染に不安を持つ方がPCR検査を自主的に受けられるセンターを荘内病院に整備する補正予算案が追加で提出され、全員賛成で可決しました。

概要は次のとおりです。

### ○事業内容(補正予算額 877万円)

事業主体：山形県(荘内病院への委託事業)

運用開始：2月1日(火)(予定)

設置場所：荘内病院敷地内

## 12月定例会の ポイント

予約受付、検体採取：月曜～金曜日(祝日除く)

検査予約：電話等で申込み

自己負担：1件につき5,000円(税込)

### ○検査対象者

- ① 県内居住者、県内居住者に準ずると認められる方(県内事業所に勤務している方等)
- ② 感染者の濃厚接触者ではない方
- ③ 無症状の方(発熱等の症状がない方)

## 田中宏議員に対する懲罰動議を提出

「沖縄戦戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立て等に使用する計画の中止を国に求める意見書の提出を求める請願」の審議における12月16日の本会議での田中宏議員の賛成討論の中で、議員個人を特定して侮辱する不穏当な発言があったとして一部議員が問題視。田中議員は翌17日の本会議で発言の一部取消しを申し出て許可されましたが、一部議

員から発言取消しだけで済む問題ではないと指摘がありました。阿部寛議員、佐藤博幸議員、本間正芳議員及び小野由夫議員から懲罰動議が提出され、委員会条例の規定に基づき、懲罰特別委員会が設置されました。

今後、同委員会で、発言内容が懲罰事犯に該当するか等について、慎重な審査が行われます。

## 討論

コロナ禍による米価下落の対策を求める請願

※MA(ミニマムアクセス)米…  
日本が高関税を課して輸入を制限する代わりに最低限の輸入機会が提供される外国米。



### 賛成

日本共産党鶴岡市議員  
国産米を買い入れ  
MA米の輸入削減を

コロナ禍で需要が減少し米価は大暴落した。政府は過剰在庫の備蓄米を買い入れ、市場隔離した上で、生活困窮者等への支援に回すべきである。国の補正予算では、15万tの特別枠を設け、米の保管経費等を負担することで市場隔離と同等の効果があるとしているが、数量も少なく、不十分である。また、備蓄米が数年後に市場に出回れば、古米を食べることになり、米への信頼も揺らぐ。農家は、政府が打ち出した36万tの上乗せ減反を達成したが、米価下落に歯止めがかかっていない。バターなどの品目を削減している一方で、毎年77万tも輸入されるMA米を一切削減しようとしている。本請願は、本市の基幹産業を担う米農家と地域経済を守るものであり、賛成する。

### 反対

新政クラブ  
国は様々な施策により  
米価下落対策を講じている

政府の備蓄米は、不作等で供給が不足する事態に備え、保管することが目的である。そのため、国は、需給操作や米価の下落を支えにつながるような買入れは行わないとしている。国の補正予算では、15万tを特別枠とし、その保管経費等の全額支援や、特別枠の主食用米を子ども食堂などに無償提供した場合の全額支援、米の販売環境が改善した時期に中食・外食に販売した場合の半額支援等を検討している。これらの施策により、米の需給環境を改善できるものと考えられる。また、MA米は、貿易協定の交渉の中で、従来輸入がほぼなかった品目について最低限の輸入機会を提供するため、無税の輸入枠を設定したものであり、削減は困難と考える。以上を踏まえ、本請願に反対する。

# 委員会審査

提出された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。審査の主なものを掲載します。

## 予算特別委員会 市民文教分科会

### 特別教室への冷房設備の整備は

**委員** 小・中学校の特別教室に冷房設備を整備するため、補正予算が計上されているが、対象校は。

### 管理課長

特別教室への冷房設備の整備は、児童生徒数の多い学校から、順次整備を進めている。このたびの補正予算では、黄金、大泉、湯野浜、大山、西郷、藤島、東栄、羽黒の各小学校、鶴岡第二、藤島、羽黒、温海の各中学校に整備する計画である。

## 総務常任委員会

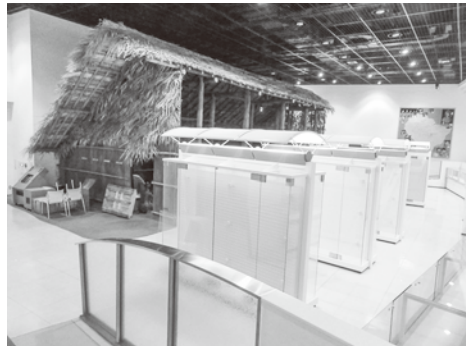
### 旧アマゾン民族館の活用策は

**委員** 現在空きスペースとなっている同館の今後の活用策について、庁内での検討状況は。

### 食文化創造都市推進課長

令和2年度にアマゾン民族館及び収蔵庫スペースの利活用に係る検討会議を庁内に設置した。同スペースを含む出羽庄内国際村は、国際交流拠点として各種事業を行ってきたが、開設当時約200人だった在住外国人が現在は700人超となり、在住期間も長期化しているこ

とから、今後は、市民と外国人が共に安全・安心に暮らしていく「多文化共生」の取組に重点を置いていく必要がある。よって、一施設の機能検討に留まることなく、広く公共施設の現況等を踏まえながら、当該施設の機能の在り方を検討している。なお、3年度内に方向性を取りまとめ、4年度以降、アクションプランに反映させていく予定である。



旧アマゾン民族館（伊勢原町）

## 予算特別委員会 厚生分科会

### 障害児支援サービスの利用促進は

### 委員

障害児支援サービスを利用するためには、医師の診断書等が必要であるが、発達障害の確定診断まで相当の時間を要しており、改善すべきでは。

**福祉課長** 本市には専門医が少なく、確定診断に時間を要しており、県に医師不足の改善を要望している。現在、発達障害の疑いがある場合でもサービスを利用できるようにしており、また、児童相談所からの意見書でも利用できるように関係機関等と協議を進めている。今後も利用に支障を来さないよう努めていく。

### 3回目のワクチン接種への対応は

### 委員

新型コロナウイルスの接種予約については、コールセンターに電話がつながりにくいなど、市民から不満の声が多く寄せられたが、3回目接種に向けてどのような対策を講じているか。また、国では3回目接種の時期を2回目接種から8か月後としているが、6か月後に前倒しすることも議論されている。前倒しされた場合の体勢はどのようになっているか。

### 健康課長

前回は対象者に接種券を一斉送付したが、3回目接種に当たっては、予約が集中しないよう8か月を迎える方に対し、分割して順次送付する予定である。現在のところ、接種時期が前倒しになった場合の準備までは行っていないが、国の方針に沿って対応できるように検討していく。

## 産業建設常任委員会

### 産直あさひ・グーの方向性は

### 委員

同施設の指定管理者を引き続きあさひ村直売施設管理運営組合に指定するに当たって、県の土砂災害警戒区域に立地していることとあり、指定期間を3年とするとのことだが、今後の方向性は。

### 朝日庁舎産業建設課長

朝日地域では、173か所が警戒区域に指定されている。今すぐに同施設に危険が迫っているものではないが、多くの利用客が訪れる施設であることから、建物の傾きを定期的に計測するなど、安全確認に努めながら運営している。現在、ほかの施設への移転等を含め、組合と協議中であり、今後も継続して運営できるように調整していきたい。



産直あさひ・グー（下名川）

## 予算特別委員会 産業建設分科会

### 米農家に更なる支援が必要では

**委員** コロナ禍で苦しむ米農家に対し、水稻種子代金の3分の1相当として、10a当たり1,000円を支援するため、総額約6,800万円の補正予算を計上しているが、この金額では少ないと考える。例えば、さくらんぼを基幹作物とする寒河江市の交付単価は、2,000円となっており、これまで飲食店などに対し、数億円もの支援を行っている中、米が基幹作物である本市においては、米農家に対し更なる支援が必要と考えるが、見解は。

**農政課主幹** 県内自治体の10a当たりの交付単価は、最上地域の3,000円が最も高いものの、庄内地域では本市を含め4市町が1,000円であり、県でも同様に1,000円を予定している。本市は生産者が多く、面積も広いため、予算総額では県内一となっている。また、米価下落に関連する緊急支援としては、国の水田リノベーション事業による助成として、12月に本市の米農家に対し、総額4億2,000万円が交付される予定であり、令和4年度も約

5億円の予算規模を見込んでいる。このほか、市独自の支援策としては、今後も主食用米の作付拡大が難しいことから、ミニトマト、きゅうりなどの園芸作物の生産拡大に向けた取組への支援も強化している。今後も、国の交付金制度を効果的に活用するとともに、市独自の支援策と合わせて米農家の経営継続に向けた取組を後押ししていきたい。

### 川端通りの消雪井戸工事の概要は

**委員** 都市計画道路山王町本町線（通称・川端通り）整備事業について、消雪井戸工事の概要は。

**土木課長** 国では道路インフラの局所的な防災・減災対策を重点的に進めており、このたび国の交付金の追加内示を受け、川端通りの鶴園橋から千歳橋までの区間を整備する計画である。同路線は、一方通行規制解除対象路線となっており、緊急輸送道路にも指定されていることから、冬季間の安全な通行を確保するため、車道には散水消雪、歩道には無散水融雪を計画している。井戸工事はこれら消雪施設で使用する地下水をくみ上げるため行うものである。今後、6年度までに整備を完了し、7年度から一方通行規制が解除できるよう整備を進めていく。

## 特別委員会を設置しました

特別委員会	委員長	副委員長	委員
予算	尾形 昌彦	黒井 浩之	議員全員で構成
高速交通等対策	五十嵐一彦	草島 進一	南波 純 長谷川 剛 秋葉 雄
議会改革	加藤 鑛一	佐藤 昌哉	遠藤 初子 田中 宏 石井 清則 菅井 巖 黒井 浩之 佐藤 博幸 尾形 昌彦 渋谷 耕一
人口減少・地域活性化対策	富樫 正毅	坂本 昌栄	工藤 博 佐藤 麻里 阿部 寛 本間 正芳 石塚 慶
懲罰	渋谷 耕一	加藤 鑛一	草島 進一 石井 清則 長谷川 剛 富樫 正毅 石塚 慶 佐藤 昌哉 五十嵐一彦 尾形 昌彦

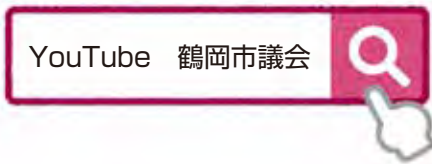
# 総括質問

市長提出議案に対して、  
会派を代表して質問します。  
各議員1項目について概要をお知らせします。

## YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

## 市長公約と市政運営・行財政運営の方針は

新政クラブ 尾形 昌彦 議員



**議員** 財源に限りがある以上、政策については優先順位をつけて進めていく必要がある。政策の優先順位について、市長の基本的な考え方は。

**市長** 創造と伝統のまち鶴岡の持続的発展のため、若者・子育て世代の応援に重点的に取り組んでいきたい。子育て世代の負担軽減を図る施策の一つとして、第二子の給食費無償化の検討を進める。

**議員** 負担軽減によりもう一人産もうという環境を実現するのが政策効果であり、何が子育て世代に必要とされているのか勘案して政策立案すべきと考える。第二子の給食費無償化は毎年2億円の支出増になるが、その政策効果をどう考えているか。

**市長** 財源にめどをつける努力をして、子育て世代の負担軽減を図る取組を進めていく必要がある。

### ほかの質問

新型コロナウイルスへの対応、  
人口減少対策

## 市長給与の3割カットの意義と目的は

日本共産党鶴岡市議団 加藤 鑽一 議員



**議員** 市長給与の3割カットについて、過去には2008年リーマンショック後に当時の富塚市長、さらに榎本市長の在職時に行った。皆川市長は就任時、文化会館建設に伴う前市長の行政責任を引き継ぐとして、給与の3割カットを行ったが、今回の意義と目的はどうか。新型コロナウイルス収束を見通し、1年ごとの見直しは適切ではないか。

**市長** このたびの市長選挙で、私と相手候補がともに公約に掲げたものであり、この公約を踏まえ、新型コロナウイルスによって厳しい状況にある市民、事業者に寄り添い、今後も必要な対策を講じるために行うものである。減額の期間は、1期目の減額4年分を継続し、公約どおり2期目も4年分の減額を実施したい。新型コロナウイルスの収束と経済の回復には相当の期間が必要な見込みであり、コロナ対策に全力で取り組んでいく。

### ほかの質問

新型コロナウイルス対策、  
米価暴落対策 など

## 希望をかなえられる結婚支援対策を

鶴岡市議会公明党 富樫 正毅 議員



**議員** 人口減少の最大の要因の一つには出生率の低下がある。その背景には、婚姻数の減少や晩婚化が考えられ、より強力な対策が求められる。出生数の向上に向け、子供を産み育てたいという希望をかなえられる環境整備が必要ではないか。

**市長** 本市の婚姻数は年々減少を続けており、10年前と比較し3分の2程度となっている。市としては各種婚活イベントの支援など、出会いの機会の創出に取り組んでいる。広域的には、県と35市町村で構成する「やまがたハッピーサポートセンター」を中心としたオール山形での婚活支援に取り組んでおり、一層の連携強化が必要と考える。また、令和3年度から、新婚生活の住居費用と引越し費用を補助する結婚新生活支援事業を実施しており、この事業の活用についても更に促していきたい。

ほかの質問

新型コロナウイルス対策、農業の活性化、観光振興

## 観光振興の現状と今後の観光戦略は

市民の声・鶴岡 草島 進一 議員



**議員** 本市の今年度上半期の観光入込客数は、**市長** 約220万人で、2年度上半期と比較し約20%の増加だが、元年度の約369万人と比較して約40%減少している。

**議員** 今年度、出羽三山神社等には多くの修学旅行生が訪れたと聞く。教育旅行の誘致に力を入れていと思うが、その動向は。また、今後の観光戦略は。

**市長** 今年度は200校以上が教育旅行で本市を訪れており、昨年度の98校から大幅に増加している。旅行の平準化を図る上でも、土曜・日曜日に集中しない、教育旅行の誘致は重要と考える。コロナ禍の新しい旅の形として、マイクローツーリズム（※1）やワーケーション（※2）が注目されており、今後は、新たな動きを的確に捉え、観光戦略を具体化することで、観光資源の磨き上げや体験型観光の受け入れ態勢の整備を図っていく。

ほかの質問

新型コロナウイルス対策、農業、GIGAスクール構想

※1 マイクローツーリズム…自宅から1～2時間圏内の地元または近隣の宿泊観光や日帰り観光。

※2 ワケーション…「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」を組み合わせた造語。ふだんの勤務地を離れ、保養所などで休暇を取りながら仕事をする。

## ワクチンは希望者全員へ 優先順位は示さず

市民フォーラム 石井 清則 議員



**議員** 新型コロナウイルス対策として、国から3回目のワクチン接種を実施することが示されたが、1、2回目の未接種の方がいる中で、3回目接種が始まると混雑緩和の対策が課題となる。2回目接種の方と3回目接種希望者との優先順位と、接種方法は。

**市長** 3回目接種が12月に始まり、今後は1、2回目の未接種の方と接種時期が重複していく。国から優先順位については示されていない一方で、感染拡大防止及び重症化予防の観点から、2回目接種の方への接種機会の提供を継続する方針が示されており、接種実施医療機関を確保していきたい。今後の接種については、地区医師会等と連携し、個別接種を中心に実施し、対象人数が多くなる時期は集団接種で補完するなどして、希望する全ての方が接種できるように取り組んでいく。

ほかの質問

観光、農業



# 皆川市政とSDGs 未来都市の方向性は

SDGs 鶴ヶ岡 田中 宏 議員



**議員** 1期目を振り返って、これまでの市政との違いは。2期目において、対話と協働の市政が目指す方向性、実現したいSDGs未来都市としての姿は。

**市長** 様々な課題の把握、解決のため、現場の関係者との対話を重視してきた。例えば、鶴岡まちなかキネマの閉館を受けて、活用を構想するために、社会福祉協議会・山王まちづくり株式会社との合意形成を図るとともに、有識者や商店関係者等との検討の場を立ち上げて、地方創生推進交付金を活用し官民連携で再生に向けた基盤づくりを進めた。「つるおかSDGs推進パートナー」制度の創設などにより市民、NPO、企業など多様な主体と連携し、若者・子育て世代に施策の重点を置きつつ、官民連携のパートナーシップを生かしたまちづくりと市政運営を図り、伝統と創造が調和した鶴岡市にしていきたい。

**ほかの質問**

新型コロナウイルス対策、  
小中学校の教育環境

## 議会の開催状況

令和3年中は4回の定例会（3月、6月、9月、12月）と5回の臨時会（1月第1回、1月第2回、4月、7月、11月）が開催されました。

◎議会の開催状況（単位：回・日）

招集回数		会期日数		本会議日数	
定例会	臨時会	定例会	臨時会	定例会	臨時会
4	5	81	9	25	7

◎常任委員会の開催状況（単位：件）

	総務	市民文教	厚生	産業建設
委員会	5	5	5	6
分科会	6	5	6	6
協議会	5	5	3	3

◎議会運営委員会 25回 ◎議員全員協議会 4回

◎提出議案の状況（単位：件）

市長提出						議員提出					請願		
予算	決算	条例等	事件	人事	計	条例	決議	意見書	その他	計	受理	継続	計
28	4	34	44	8	118	2	6	9	2	19	11	0	11

◎審査の状況（単位：件）

市長提出							議員提出				請願		
可決	否決	同意	承認	認定	可決及び認定	計	可決	否決	継続審査(懲罰)	計	採択	不採択	計
104	1	8	3	2	2	※120	14	4	1	19	2	9	11

※令和2年から継続審査となっていた2件含む。

## 市長の100万円授受問題で議員全員協議会を開催

平成29年10月の市長選挙期間中に、皆川市長が当時の支援者から受領した現金100万円の寄付を、選挙運動費用収支報告書に記載していなかった問題を受け、12月27日に議

員全員協議会を開催しました。

市長が経過を説明した後、質疑を行いました。議員からは、説明が不十分で納得できないなど、多くの問題の指摘がありました。

## 高齢者世帯等雪下ろし作業と 除排雪支援は



遠藤 初子 議員

**議員** 高齢者世帯等雪下ろし事業の昨年度の利用状況は。また、玄関先の除排雪作業についても市が支援に取り組む必要があると考えるが見解は。

**健康福祉部長** 昨年度の雪下ろし補助件数は167件で、そのうち高齢者世帯が159件となっており、朝日・羽黒・温海などの豪雪地域での利用が多い。玄関先の除排雪作業については、地域住民による支え合い活動の一環として、地域課題解決に向けた取組が行えるよう、住民自治組織に対して優良事例や先行事例を情報提供するなど、関係部署が連携し支援していきたい。

### ほかの質問

食文化創造都市の今後の取組、  
(仮称)あさひ産業振興施設整備事業検討委員会

# 一般質問

市政全般について考え方や方針などを  
市当局に質問します。

各議員1項目について概要をお知らせします。

質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

※総括質問を行った議員を除く19人の質問を掲載します。

## YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



## 教職員の働き方の現状は



南波 純 議員

**議員** 本市小・中学校の教員で、体調を崩し休んでいる方、産休・育休を取っている方は何人か。また、その代替教員の配置状況は。

**教育長** 11月末現在、病休中の教員は11人で、そのうち心の病で休んでいる方は約6割である。産休・育休中の方は33人、取得予定者は4人と、平成29年度の25人と比べ増加傾向にある。また、病休代替の未配置校は3校あり、その確保に苦労している状況である。産休・育休代替は全て配置済みだが、取得予定者3人の代替が未定であり、庄内教育事務所と連携して情報を共有しながら、未配置の解消に努めている。

### ほかの質問

医療従事者の働き方、学校給食費の無償化

## 道路の除排雪の きめ細やかな対応を



工藤 博 議員

**議員** 近年の除雪には重い寄雪の排雪等の課題があるが、道路パトロールの強化と除雪機械の出動回数を増やすことで、その多くは解消されると考える。また、道路事情や生活環境に応じたきめ細やかな対応が必要と思うが見解は。

**建設部長** 道路除雪用の除雪機械は大型であるため、家庭用や歩道用の除雪機械のように間口の寄雪を処理するなど、細かな作業には限界がある。拡幅の回数を増やすことは、作業員の作業環境の配慮や作業人員、車両確保の面からどの程度の対応が可能か、検討が必要と考えている。

### ほかの質問

なし

## HPVワクチンの積極的推奨の 個別通知を

黒井浩之議員



**議員** HPVワクチン（※）接種の積極的勧奨の再開が決まった。小学6年生から高校1年生までの全ての対象者に、積極的勧奨の再開を個別にお知らせすべきと考えるが見解は。

**健康福祉部長** 対象者には、情報提供や予診票送付などを個別に行い周知する。事前相談や事後の診療対応など医療機関と連携していく。

**議員** 接種対象期間内に必要な情報が得られず接種機会を失った方々に、改めて無料接種の機会を提供すべきと考えるが見解は。

**健康福祉部長** 国の動向を注視しながら、広報や個別通知での情報提供等を検討している。

ほかの質問

ごみ減量と市民への周知、コロナ補助金の周知

※HPVワクチン…子宮頸がん予防ワクチン

## SEADSの目指すところは

秋葉雄議員



**議員** 農業経営者育成学校SEADSが目指すところは、研修生に農業で本市に根付いてもらうことなのか。それとも、何千万、何億円も稼ぐような一流の経営者を育てることなのか。

**農林水産部長** まずは技術を身に付け、農業で定着してもらうことが目先の目標になる。一方で他業種の方が農業に参入し成果を上げている優良事例もあるので、従来とは違った視点から農業に参入することで発展する可能性もあると考えている。研修では技術の習得を重点的に行うが、卒業後はそれぞれの経歴や経験を生かして発展されることを望んでいる。

ほかの質問

地域支援型農業、「食と農」ビジネスの支援策

## 包括支援体制に コーディネーターの必要性は

坂本昌栄議員



**議員** 「つるおか地域福祉プラン 2020」に掲げる「日常生活圏単位における個人や家族の困りごとに対する包括支援体制」を実行するために必要となる、コーディネーターの人材確保や育成は。

**健康福祉部長** 市民が抱える課題は複雑・複合化しており、関係する支援者がチームとして対応していくためには、コーディネーターとなる人材の配置が必要であると認識している。来年度から開催する（仮称）地域生活支援会議には、必要に応じて支援調整を行う役割を担う、コーディネーター的な人材を配置する予定である。

ほかの質問

子どもの安全対策としての学校通学、障がい者福祉

## 郷土資料の新たな保管場所 確保が急務では

長谷川剛議員



**議員** 個人が所有する貴重な郷土の資料は、寄贈の申出があれば、市民の財産として受け入れ、後世に引き継いでいく努力が求められると考えるが、保管庫はほぼ満杯と聞く。新たな保管庫の確保が急務と考えるが見解は。

**教育部長** この10年で約100件、2万点ほどの資料を受け入れてきた。図書館本館以外に旧小堅小、旧菅野代小・中学校で保管しているがいずれも狭あいとなっており、利用者が必要な資料を閲覧することが困難となっている。そのため、現在、1か所で資料の保管と閲覧・調査が可能な施設への移転を庁内で検討している。

ほかの質問

燃油高騰対策

## 本市の教育デザインは



本間正芳議員

**議員** 市民から要望がある大泉・朝陽三・京田小の中学校区の見直しは怎么样了のか。

**教育部長** 学校によって生徒数に偏りが生じること等が懸念されるため、保護者や地域の考えを改めて確認し、実情把握が必要と考えている。

**議員** 元年6月定例会でも同様の答弁をしている。聞き取りを行い、意見を集約したのか。

**教育部長** 各地域・保護者から個別に聞き取ってはいないので、機会を捉えて確認したい。

**議員** このことについて、市長の見解は。

**市長** この見直しについては、きちんと整理し、質問に答えられるように臨むべきと考える。

ほかの質問

鶴岡市のまちづくり

## 大山保育園が要望した移転建設への対応は



菅井巖議員

**議員** 平成25年と令和2年に、大山保育園が市に対して園舎の移転建設に係る要望を行っている。施設整備に向けた課題解決と進展を図るための対応は。

**健康福祉部長** 園舎の老朽化、近隣の交通量増加などから旧鶴岡西高校跡地への移転の要望を受けている。大きな課題として遺跡調査が必要であり、高額な調査費用や相当程度の調査期間を要することが挙げられる。同園は本市の保育機能の核の役割を担っている重要な保育園でもあり、より実現可能な施設整備について運営主体の法人とともに検討していきたい。

ほかの質問

湯野浜自治会からの要望・課題、  
デマンド交通対策

## 旧鶴岡病院を解体除去し跡地の有効活用を



阿部寛議員

**議員** 旧鶴岡病院移転から7年になるが、治安面から不安を感じる住民もいる。市長公約には県と連携し、旧鶴岡病院跡地の活用を検討するとあるが、その内容は。

**教育部長** 住民の不安を解消し、風評被害を防ぐためにも、早期の建物解体、跡地活用が重要と認識しており、県には人工芝サッカー場等への跡地活用を要望している。元年6月に県病院事業局と協議したところ、約8億円の解体費用が見込まれるため、当面、財政的な課題から解体の見込みはないと確認したが、今後も県と情報を共有し、課題解決に向け取り組んでいく。

ほかの質問

農業振興

## 消防団が地域で活躍できる体制整備を



石塚慶議員

**議員** 4年度からの報酬個人支給に伴い、分団等の運営経費、様々な小規模の修繕費、報酬の支払い方法など危惧する点があるが対応は。

**消防長** 今年度は、準備期間として分団等の運営経費を報告してもらうことにしている。毎年、分団等に運営費を支給しているが、状況を確認して個人負担にならないよう対応していく。また、消防ポンプ庫の修繕等は消防本部の経費で対応することを改めて周知していく。報酬個人支給については、専用システムの導入を計画しており、現在、支払い時期や回数などを協議中だが、例年どおりの支給となるように努める。

ほかの質問

コロナ禍のイベント等の取扱い



## 選挙当日の投票時間短縮の検討は



中 沢 深 雪 議員

**議員** 期日前投票も浸透し利用者数も増えているため、選挙当日の投票の終了時間を市全域で午後8時から午後7時に短縮しても影響は少ないと考える。経費節減や立会人等の負担軽減の観点からも、1時間の短縮を検討してはどうか。

**選管委員長** 公職選挙法では、特別の事情がある場合を除き、投票時間は午後8時までと定められている。10月の市長選挙、市議会議員選挙における午後7時以降の投票者数は905人であり、全体の1.31%の方がこの時間帯に投票している。投票機会を狭めることになるため、市全域での時間短縮は難しいと考えている。

ほかの質問

エネルギーの地産地消、「忠犬ハチ公」像と鶴岡市出身動物愛護家「斎藤弘吉」

## 投票所に行くことが困難な方への支援は



佐 藤 博 幸 議員

**議員** 高齢者や障害者が投票したくても自力では投票所に行けない事例が多い。投票所への移動支援や投票所での介助はどう対応しているか。

**選管委員長** 病院等での不在者投票、重度の障害がある方の郵便投票の周知や期日限定の期日前投票所の設置を行っている。今後も他の取組事例を参考にしながら対応を検討していきたい。

**議員** 投票所まで行ったのに代理投票をしてもらえなかった事例もあったと聞く。選挙人の意思確認を丁寧に行う必要があるが今後の取組は。

**選管委員長** 様々な事例があるので、障害に合った対応ができるよう研修等を行っていく。

ほかの質問

なし

## 昨年度決算の状況把握と新制度の財政把握は



小 野 由 夫 議員

**議員** 地域まちづくり未来基金を3億円増額した一方、地方債は75億円増加し、財政調整基金も25億円取り崩しているが、今後の財政運営は。

**総務部長** 2年連続で実質単年度収支は黒字となったが、合併による普通交付税の優遇措置も昨年度で終了し、市債償還も本格化する。今後、行財政改革を進め、財政規律の保持に努める。

**議員** 地域まちづくり未来事業の財源措置は、現在は基金だが、従前の一般財源との相違は。

**総務部長** 基金の創設により、同事業を推進する財源を確保しつつ、金額のめどを示し、基金を活用する仕組みを構築したものである。

ほかの質問

なし

## 本市のスポーツ振興の取組は



佐 藤 久 樹 議員

**議員** 11月に使用を開始した屋内多目的運動施設について、その概要や使用方法は。

**教育部長** 子供から高齢者まで、多様なニーズに対応できる施設である。空きがあれば当日の申請でも使用でき、今後、スマホ等でも予約ができるようにする。小・中学校の行事や部活動、園児、障害者等が利用する場合は全額免除、60歳以上の方は、会場使用料が半額免除となる。

**議員** 本市出身のプロ野球選手である長谷川勇也氏が市民栄誉賞を受賞したが、この内容は。

**総務部長** これまでの功績に対し、満場一致で授与を決定した。合併後では初の受賞者となる。

ほかの質問

障害のある児童への対応

# 市議会の1年 ～定例会を年4回開催～

市議会には、定期的にかれる「定例会」と、必要に応じて開かれる「臨時会」があり、本市議会の定例会は、年4回、通常3月、6月、9月、12月に招集されます。

各定例会では、各会派を代表する議員が、市長から提出された議案に対し総括質問を行った後、各議員が市政全般に対し一般質問を行います。

提出された議案は、所管の常任委員会で詳しく審査された後、本会議で各常任委員長が審査報告を行い、質疑、討論を経て、最終的な意思決定を行います。

市議会は、いつ、どのような審議をしているのか、本市議会の1年をご紹介します。



## 3月定例会



主に新年度の当初予算議案のほか、補正予算や条例などの議案を審議します。

当初予算は、1年間の市の事業や方向性を定める重要な市政の柱であるため、議会は予算の内容が適切か慎重に審議します。

市議会だよりは5月1日に発行します

## 6月定例会



補正予算議案や条例議案などを審議します。

令和3年6月定例会では、昨今のコロナ禍を反映し、新型コロナ対策などに関する補正予算について、市当局から様々な提案がありました。

市議会だよりは8月1日に発行します

市議会だよりは2月1日に発行します

## 12月定例会

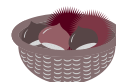


補正予算議案や条例議案などを審議します。

令和3年12月定例会では、国の子育て世帯への10万円給付の補正予算議案などのほか、新年度の公の施設の指定管理者の指定なども審議しました。

市議会だよりは11月1日に発行します

## 9月定例会



主に前年度の決算を審議するほか、補正予算や条例などの議案を審議します。

9月定例会は「決算議会」とも言われ、前年度の予算が適切に使われたか検証し、翌年度の予算編成を見据えた評価を行います。

## 臨時会の招集

臨時会は、定例会の開催までの間に、特に議会に提出する案件が生じた場合などに開催されます。

コロナ禍で急を要する案件などがあったことから、令和2年及び3年は各5回の臨時会

を開催しました。

議会を招集するのは市長の権限ですが、議員定数の4分の1以上の議員から請求があれば、市長は臨時会を招集する必要があります。

## 3月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
		1 本会議 (開会・総括質問)	2 予算特別委員会	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	5
6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 予算特別委員会	9 総務 常任委員会	10 市民文教 常任委員会	11 厚生 常任委員会	12
13	14 産業建設 常任委員会	15 常任委員会 予備日	16 常任委員会 予備日	17	18 議会運営委員会	19
20	21 (春分の日)	22 予算特別委員会	23 本会議 (表決・閉会)	24	25	26
27	28	29	30	請願・陳情 提出期限 2月21日(月)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。  
午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。  
※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 議会を傍聴される 皆さんへ

鶴岡市議会では、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、傍聴にお越しの方の健康を守るため、次のことをお願いしています。ご理解とご協力をお願いします。

- ・傍聴席の間隔を空けて着席してください。
- ・マスクを着用してください。
- ・入場時に手指のアルコール消毒をしてください。
- ・発熱など体調が優れない方はご遠慮ください。

なお、本会議は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・ユーチューブでは生中継及び録画配信も視聴できます。

### 議会の会議録を閲覧するには



傍聴の様子

◆本所及び各庁舎の市民ロビー、鶴岡地域の各コミセン、図書館本館において、会議録を閲覧できます。  
◆インターネットで会議録の閲覧・検索ができます。市議会ホームページをご覧ください。

## 議会傍聴アンケート

12月定例会を傍聴した方から寄せられたご意見・ご感想(一部抜粋)を紹介します。

- ・今定例会から女性議員が増え、議場が明るくなったように感じた。女性の観点での質問も多く、これからの活躍に期待したい。
- ・長々と質問する議員がいたが、もっと簡潔に行ってほしい。また、市民の要望をそのまま質問するのではなく、きちんと説明し、市民を育てていくことも大事では。

## 編集後記

改選し、今回から新しいメンバーでの編集が始まりました。これまでの数年間は、読みやすく、市民の皆さんに必要な情報を届けられるよう、紙面を見直してきました。更に誰もが手に取って読んでみたくなるような「議会だより」になるように見直しを行ってまいります。

12月定例会号が手元に届くのは2月初めになるため、紙面の内容にはどうしても時間差が生じてしまいますが、今後も確実に丁寧な紙面づくりを努めてまいります。  
広報広聴委員長 本間 正芳



長谷川 剛 南波 純 佐藤 麻里 阿部 寛 黒井 浩之  
本間 信一 (副議長) 本間 正芳 (委員長) 石井 清則 (副委員長)

発行/鶴岡市議会 編集/広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25  
電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123  
メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

